

授業特別協力者(ゲストスピーカー)報告書

テーマ : レゴ(R)シリアスプレイ(R)で学ぶ「コンピテンシー」と「チーム力」
授業特別協力者名 : 鈴木 篤司 氏
実施日時 : 2024年5月20日(月) 2時限
担当教員名 : 斎藤 正武
授業科目名 : ベーシック演習 I
履修者数 : 18名

実施結果

2024年5月20日の2時限目に、Basic演習の一環として5307教室でLegoシリアスプレイ(LSP)研修を実施しました。LSP認定インストラクターの鈴木さんを招聘し、LEGOブロックを用いた創造的な問題解決およびチームビルディングの手法を学びました。本研修はコンストラクショニズム理論に基づき、学習者が自らの手で知識を構築することを目指しています。

研修の冒頭では、鈴木さんがLSPの基本原則とその効果について説明しました。参加した学生たちは、自己紹介を兼ねて各自の職務や特徴をLEGOブロックで表現し、それを発表することで、互いの理解を深めました。その後、特定の課題に対する解決策をLEGOモデルで具現化する演習が行われました。学生たちは個々のアイデアを視覚的に表現することで、抽象的な思考を具体化する技術を学びました。

各自が作成したモデルの発表と共有を通じて、異なる視点やアプローチが活発に交換されました。これにより、学生たちは他者の考えを理解し、自分のアイデアをさらに発展させる機会を得ました。モデルを介した対話により、普段の講義では気づかない問題点や新しい発見が浮かび上がりました。

研修の最後には、全員で共同モデルを作成し、チーム全体のビジョンや目標を具体化しました。この共同作業は、チームの一体感を高め、協力し合う意識を育む良い機会となりました。

研修後のフィードバックでは、多くの学生が「非常に有意義であった」と評価しました。特に、「普段の授業では得られない新たな視点やアイデアを発見できた」「チームメンバーの新たな一面を知ることができた」といったポジティブなコメントが多く寄せられました。

